

地球環境への配慮 国連が認める『福岡方式』

人間の日々の営みの証しでもある廃棄物。地球環境への負荷を抑えながら処分することは、世界共通の課題です。

日本各地で廃棄物埋立処分の標準構造となっている『福岡方式』。その特徴は、「メタンガスの発生抑制による地球温暖化要因の低減」「低コストでの建設」、そして「容易な管理運営」です。

さらに、「ごみを出さない意識」を大切にし、資源としての再利用・再生利用にも取り組み、安全かつ安定した焼却処理を通じて最終的に埋立処分する廃棄物の量を抑える都市づくりを進めています。

【研修】	コード No	【視察】	コード No
01「福岡方式」の講義・実地研修	EET-01	01_埋め立て処分場、 埋立跡地利用関連施設	EEV-01
02_廃棄物分析研修	EET-02	02_ごみ焼却処理施設	EEV-02
03_環境汚染物質分析研修	EET-03		

～環境に優しいごみ処理技術等により、美しいまちづくりを進めています～

ごみ処理技術「福岡方式」は、高度な技術を必要とせず、比較的 low コストで設置できることから、これまでに国際協力機構（JICA）や国連ハビタットとの連携により、中国やベトナム、マレーシア、サモア独立国等で導入され、スタッフの研修を本市が担当するなど、様々な協力を行っています。

【研修メニュー】▽廃棄物埋立処分技術「福岡方式」の講義・実地研修

01「福岡方式」の講義・実地研修 EET-01

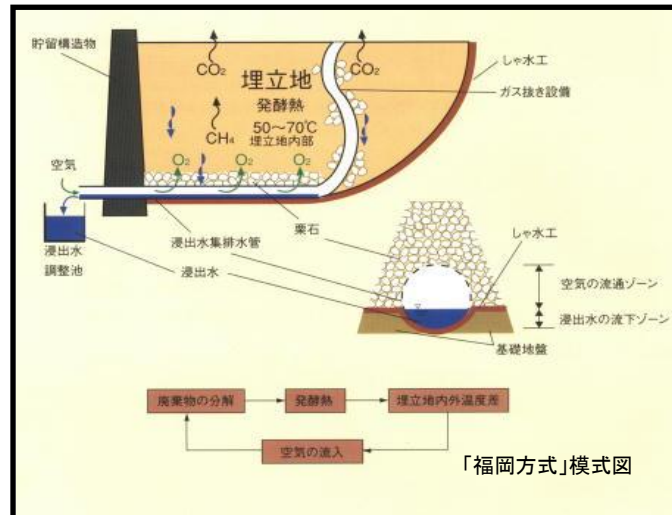
「福岡方式」とは、埋立地底部の集排水管で、汚水を速やかに排出すると共に、外気が埋立地内部に自然に流入する事により、ごみの分解が促進され、汚水が良質化し、**メタンガスの発生が抑制**されるものです。

この技術は、高度な技術力を必要としないため、生ごみ等を埋立処分しているアジア・太平洋諸国では、地球温暖化防止等へ配慮しながら、比較的**容易に建設・運営**できるため、非常に注目されています。

これまで JICA の委託により、（財）「ふくおか環境財団」がマレーシア、サモア、パキスタン等の国々で行ってきたメニューを使用して、専門技術職員が研修を行います。



「福岡方式」実地研修状況



【研修メニュー】 ▽福岡市保健環境研究所での化学分析研修

福岡市では、**保健環境研究所**を設置し、最新鋭の環境測定機器等を用い、化学物質等の分析測定を行っています。当研究所において、廃棄物や環境汚染物質の分析研修を行います。

02_廃棄物分析研修 EET-02

- ・ 廃棄物に関する分析法の実習研修
- ・ 浸出水、ごみ、埋立場ガスなどを対象に、機器分析や簡易試験の実習

03_環境汚染物質分析研修 EET-03

近年、化学物質等による環境汚染問題がクローズアップされています。ここでは、**水質や大気汚染に関する化学物質の分析法**を実習します。

- ・ 環境化学担当…**ダイオキシン、農薬、PCB**等
- ・ 水質担当…**重金属、VOCs、イオン成分**等
- ・ 大気担当…**アスベスト、VOCs、悪臭**等



【視察メニュー】 最先端の技術により、環境に配慮したごみ処理を行っています
廃棄物埋立処分技術「福岡方式」の関連施設、並びに**ごみ焼却処理施設**をご案内します。

01_埋立処分場、埋立跡地利用関連施設 **EEV-01**

「福岡方式」による埋立処分場と埋立が終了した跡地の利用状況をご案内します。

- ・西部（中田）埋立場
- ・今津埋立場跡地（今津運動公園）
- ・東部（伏谷）埋立場



埋立場跡地が運動公園として再生

02_ごみ焼却処理施設 **EEV-02**

ごみを安全かつ安定的に焼却処理する最新施設をご案内します。

ここでは、ごみ処理の過程で発生する有害物質を各種機器で徹底的に除去し、焼却炉の余熱を利用してつくった蒸気で発電しています。

- ・クリーンパーク・臨海

